

保護者様

北九州市立西門司小学校
校長 上杉良子

令和2年度本校教育活動についての保護者アンケート(学校評価)の結果について

吹く風にも春の兆しを感じられる季節となりました。

保護者の皆様方には、日頃より本校の教育活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、「令和2年度本校教育活動についての保護者アンケート(学校評価)」に、多くの保護者の方々のご記入くださり、ご提出いただきましたことに深く感謝申し上げます。本校の教育活動改善のために、たくさんの貴重なご意見をお寄せくださいました。それらを集約し、下記のようにまとめました。

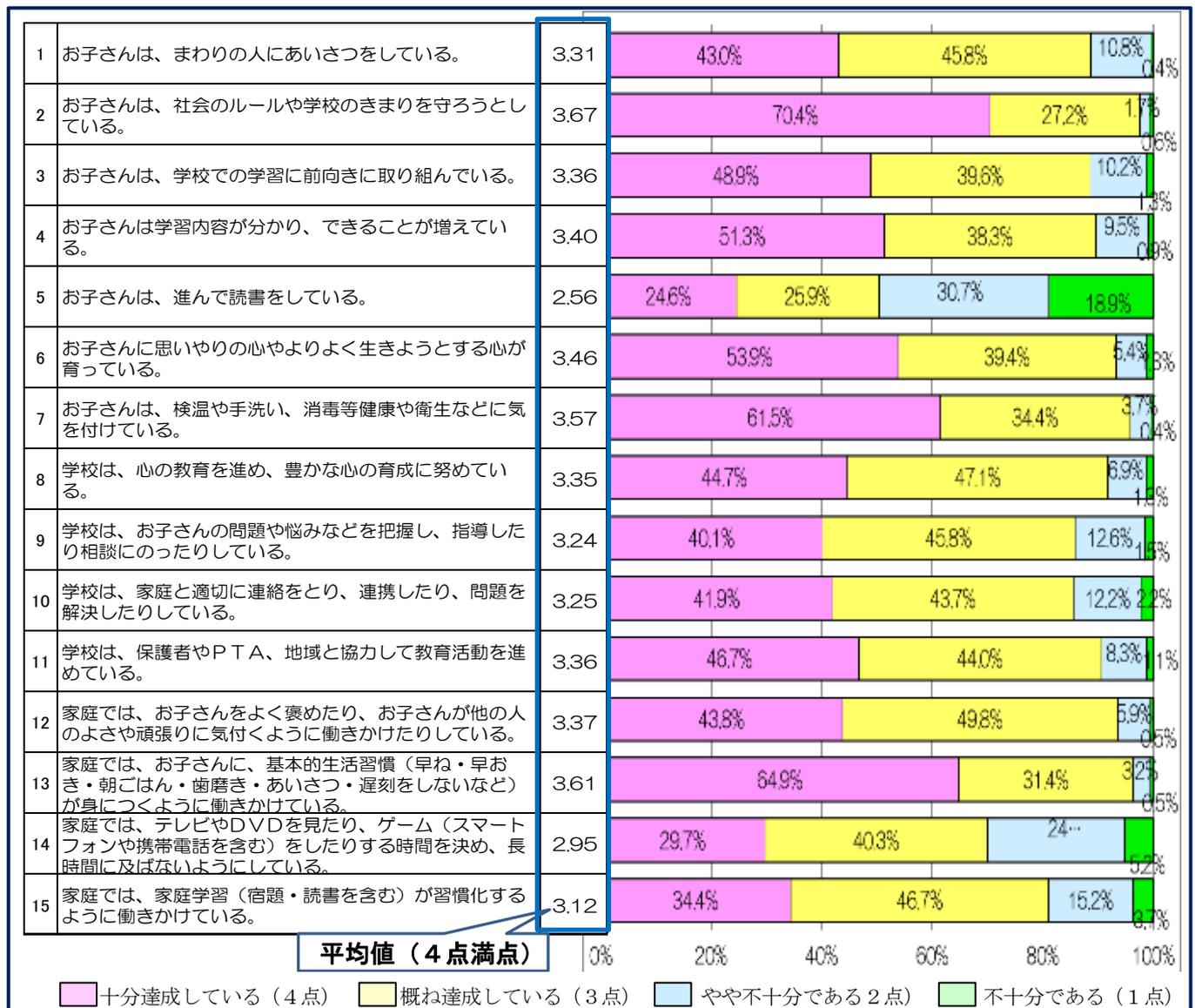
皆様方からいただいたご意見は、多岐にわたってございましたため、重複した内容や個別にご返答するべき事柄等、掲載していないご意見もあります。予めご了承ください。

本アンケートや学校評議員会等でいただいたご意見を参考に、西門司小学校のよりよい学校教育の推進に役立ててまいりたいと考えます。今後とも、ご支援とご協力をたまわりますようお願いいたします。

記

1. 評価項目の集約結果

「令和2年度本校教育活動についての保護者アンケート(学校評価)」項目別集計結果



問1「お子さんは、まわりの人にあいさつをしている。」について

「十分達成している」「概ね達成している」と回答された割合は88.8%で、昨年度と同程度でした。昨年度までは、計画委員会の働きかけで、異学年1クラスずつがペアとなり、月に2～3回、朝の登校時間に正門と裏門に分かれてあいさつ運動を実施していました。また、PTAの育成委員会を中心に保護者の方々も定期的にあいさつ運動をしてくださっていましたが、本年度は三密を避けるために、いずれの活動も実施できませんでした。しかし、あいさつについては、地域の方々や来校者からお褒めいただくことが多いです。6年生は、修学旅行の折に、県外の方々からも褒められるほどでした。あいさつは、お互いに気持ちよく生活をするための基本であり、人間関係を深めたり広げたりするための第一歩です。あいさつの意義も含めて引き続き指導に力を入れて、更なる実践につなぎたいと思います。ご家庭でもお声かけをよろしくお願いします。

問2「お子さんは、社会のルールや学校のきまりを守ろうとしている。」について

昨年度と同様に、全ての項目の中で、「十分達成している」「概ね達成している」と回答された割合も平均値も最も高い結果です。規則の尊重につきましては、道徳の内容項目にもあり、決まりやルールを守ることの大切さや守らないことによる問題点等について学年の発達の段階に応じて、しっかりと考えさせながら、今後も継続した指導を行ってまいります。また、朝の会や帰りの会、学級活動等でも「西門司くすくす」に書かれたことを基に、安全で皆が気持ちよく安心して生活できるように、働きかけたいと思います。特に、交通ルールについては、門司警察署や交通公園、安全パトロール隊の方々の協力を得ながら、次年度も「交通教室」・「自転車教室」を実施するとともに、日々の安全指導の徹底に努めてまいります。通学路等で気になる個所や気になる行為など、何かお気づきのことがありましたらお知らせください。

問3「お子さんは、学校での学習に前向きに取り組んでいる。」について

「十分達成している」「概ね達成している」と回答された割合は88.5%で、昨年度と同程度でした。今後も、知識・理解や技能の定着だけでなく、思考力や表現力、学ぶ意欲などを高めたり、学ぶことの価値や意義、自己の伸びを実感したりできるような授業づくりに努めてまいります。

問4「お子さんは学習内容が分かり、できることが増えている。」について

「十分達成している」「概ね達成している」と回答された割合は89.6%で、昨年度と同程度でした。学力向上は、本校の重要課題であると全職員が認識し、専科指導や少人数指導、TT授業（複数の教員による授業）など授業形態や指導方法を工夫し、授業改善に努めるとともに、朝自習の時間なども活用して学力の定着を図っているところです。特に本年度から、本市教育委員会の「学びチャレンジリーディングスクール事業」の委嘱を受け、補充学習に力を入れた研究に取り組んでいます。その柱の一つとして、「家庭学習の定着化」についても、取り組んでいるところです。保護者の方々にご協力を仰ぎながら、今後も全職員が一丸となってきめ細かく対応し、指導の充実を図ってまいります。

問5「お子さんは、進んで読書をしている。」について

「十分達成している」「概ね達成している」と回答された割合が50.5%で、昨年度と同様に平均値も最も低い項目です。学校における読書につきましては、週に1時間各学級に割り当てられた図書室使用の時間を中心に、運動場使用割当のない日や雨の日の休み時間などにも読書に親しむ機会をできるだけ設けるようにしています。また、本年度は休校中で実施できませんでしたが、「子ども読書の日」の取組、図書委員会児童が中心となって行う「図書集会」や本の読み聞かせ、おすすめの本の紹介などの取組、様々な教科等における図書を活用した調べ学習など、読書への関心を高める取組を進めています。さらに、家庭学習の中にも読書を取り入れるなどの取組を行ってはいませんが、今後さらに工夫していく必要があると思います。読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。読書活動の習慣化につなぐために、学校での取組に加え、ご家庭においても「ノーテレビ・ノーゲーム・読書の日」・「家読(うちどく)」が推進されるように、ご協力も得ながら一層の働きかけを行っていきたいと思います。加えて、新型コロナウイルスの感染が終息したら、読み聞かせボランティアの方々による絵本の読み聞かせも再開していただこうと考えています。

問6「お子さんに思いやりの心やよりよく生きようとする心が育っている。」・問8「学校は、心の教育を進め、豊かな心の育成に努めている。」について

心の教育については、学校の教育目標の一つであり、道徳の時間や特別活動を中心に教育活動全体を通じて重点を置いて指導しているところです。また、計画委員会の児童も、4つの心の花を咲かせようと全校に呼びかけて、互いのよさや伸びに気づき、認め合い、高め合おうとする取組を行っています。今後は、指導の充実をさらに図り、道徳的実践力が高まり、家庭や地域にも広がるように努めていきたく思いますので、保護者の皆様も、引き続きご協力をお願いいたします。

問7「お子さんは、検温や手洗い、消毒等健康や衛生などに気を付けている。」について

本年度、新たに設けた項目です。検温や健康チェックリスト表の記入など、各家庭のご協力のおかげで、これまで本校は臨時休校や学年・学級閉鎖をすることなく学校生活を送ることができていることに感謝申し上げます。児童は、新しい生活様式にも慣れ、三蜜を避けることやマスクの着用、手洗いやアルコール消毒など、衛生面や健康管理によく気を配るようになっていきます。今後も、継続して実践できるように指導してまいります。

問9「学校は、お子さんの問題や悩みなどを把握し、指導したり相談にのったりしている。」について

「十分達成している」・「概ね達成している」と回答された割合は85.9%で、昨年度と同程度です。まずは、日頃から温かい学級経営・学級集団づくりに力を入れ、悩みを抱えなくて済むようにしたいと思います。また、職員一人一人がしっかりとアンテナを高くして、小さな変化にも気を配ったり、いつでも相談しやすい環境を整えたりして居心地のよい学級・学校づくりをさらに進めます。

個別に意見や悩みを聞く機会については、担任が「いじめアンケート」実施後にいつも全児童を対象に一人一人から聞く機会を設定しています。加えて、本市では、一昨年度から思春期の入口である小学校5年生頃から、いじめ等の問題が深刻化してくる傾向にあるため、悩みを抱えたときに気軽に相談できる環境作りの一環として、スクールカウンセラーによる全員面接を実施しています。本校では、先ずスクールカウンセラーが各学級に1時間ずつ入って、スクールカウンセラーの仕事についての理解を図り、身近に感じられるようにした上で、一人ずつの面接を行っています。保護者の皆様も、お子様のことでお気付きのことがありましたら遠慮なくお知らせください。

問10「学校は、家庭と適切に連絡をとり、連携したり、問題を解決したりしている。」について

「十分達成している」・「概ね達成している」と回答された割合は85.6%で、昨年度と同程度です。問題の早期発見・早期解決には、家庭との連携が欠かせません。また、教育効果を高めるためにも、学校とご家庭とが同じベクトルで指導・支援していくことが肝要であると考えます。今後は、ご家庭との連絡をさらに密にし、子どもの健全育成に努めてまいります。

問11「学校は、保護者やPTA、地域と協力して教育活動を進めている。」について

「十分達成している」・「概ね達成している」と回答された割合が90.7%で、昨年度よりも若干下がっています。コロナ禍で保護者やPTA、地域と協力した教育活動を進めにくい状況ではありますが、他校の情報も得ながら、方法や内容を工夫することで、実施可能なものはしていきたいと思えます。温かいご理解とご協力を今後ともよろしくお願い申し上げます。

問12「家庭では、お子さんをよく褒めたり、お子さんが他の人のよさや頑張りに気付くように働きかけたりしている。」について

「十分達成している」・「概ね達成している」と回答された割合は93.6%で、昨年度と同程度で大変高く、大半のご家庭で、お子さんを褒めたり、他の人のよさや頑張りに気付くような働きかけをしたりして下さっていることに感謝申し上げます。学校でも、教職員による働きかけだけでなく、児童からも代表委員会を通じて学校教育目標の達成に向けて「咲かせよう！4つの花（優しさ・元気・正しさ・がんばり）」を呼びかけ、互いの成長を認め合う取組を行っています。また、全校児童を対象として実施している「生活アンケート」においても、「自分には、よいところがあると思いませんか。」の問に対し、肯定的な回答をした児童の割合が年々高くなっています。

褒められる経験や他の人のよさや頑張りを認めようとする気持ちは、自己肯定感や有用感や自信、さらには自他ともに大切にしていこうとする心へと繋がっていくものと考えます。子どもの発達の段階に応じて継続した取組を行ってまいりますので、今後とも積極的な働きかけをお願いします。

問13「家庭では、お子さんに、基本的生活習慣（早ね・早おき・朝ごはん・歯磨き・あいさつ・遅刻をしないなど）が身につくように働きかけている。」について

基本的生活習慣が身に付くように、殆どのご家庭で積極的な働きかけをして下さっています。基本的生活習慣の定着は、生活リズムをはじめ今後の生活に大きく影響しますので、更に定着化が図られるように、学校でも働きかけたいと思えます。ご家庭でも、引き続きよろしくをお願いします。

問14「家庭では、テレビやDVDを見たり、ゲーム（スマートフォンや携帯電話を含む）をしたりする時間を決め、長時間に及ばないようにしている。」について

「十分達成している」・「概ね達成している」と回答された割合は70%で、他の項目に比べやや低く、昨年度よりも約8ポイント低い結果でした。臨時休校や緊急事態宣言等により在宅時間が増えたことによる影響も大きいと思えます。学校でも、生活時間全体を見直し、規則正しい生活の大切さや自由時間の過ごし方、長時間ゲームをすることによる様々な影響等についても、発達の段階に応じて教材を活用しながら指導をしています。また、高学年では、本市教育委員会作成の人権教育教材を活用してネットトラブル防止の学習も行っています。ネットトラブル

の未然防止には、正しい知識と各ご家庭でのルール作りが欠かせません。今後とも継続してご協力いただきますようお願いいたします。

問 15 「家庭では、家庭学習（宿題・読書を含む）が習慣化するように働きかけている。」について

ご家庭で積極的な働きかけをしていただいていることもあり、前述の「生活アンケート」では、家庭学習を「1時間以上する」と回答した児童の割合が、昨年度は一昨年度より5%以上も高く、さらに本年度は昨年度よりも15%以上も高くなっています。また、「全くしない」と回答した割合が、大幅に減少した昨年度よりもさらに低くなりました。

復習や予習を行うことで、内容の確実な定着や学習意欲の向上、主体的な学びへとつながります。家庭学習の課題の出し方を工夫したり、範となるノートを廊下に掲示したり、授業の中で取り上げたりするなど、発達の段階に応じて自主学習についても積極的に進めているところです。今後も、さらに工夫を加えながら継続して進めてまいりますので、ご協力をお願いします。

2. 学校の教育についての感想・意見から

< よかった点 > 学校の取組や職員への励ましのお言葉、子どもたちの成長した具体的姿などをたくさんご記入いただきまして、ありがとうございます。私たち職員一同励みになりますとともに、ご期待と信頼にお応えせねばという強い思いがしております。お子さんの力をさらに伸ばすことができるよう、全職員で充実した教育活動に努めて参ります。今後とも、ご支援・ご協力をよろしく願いいたします。

- ❖ 芸術鑑賞があったところがよかったです。
- ❖ 今年はコロナの影響で色々行事ができない中で学年ごとに少しでも体験ができたことはよかったです。一人ずつがルールを守りいろいろな形で新しいことにチャレンジしていけたらと思います。
- ❖ 子どもをよくほめてくださるので、本人のやる気を伸ばしてもらっていると感じています。自信をもてるので登校しても嫌だと言わずに一人で行くのを見て、本当に感謝しています。
- ❖ 担任の先生が、子どもをよく見てくださり、気になることがあればすぐに電話をくれます。
- ❖ 子どもの本来のよいところをほめてくれるところ。担任の先生に恵まれました。
- ❖ 連絡帳を活用した情報の共有。
- ❖ 子どもが学校に行きたくないといったとき、子どもの悩みや問題になっていることに対して、すぐに対応して下さり、助かりました。
- ❖ 今のままで満足しています。教育は、やはり担任の先生で決まることがあると思います。担任の先生は安心して子どもを任せられると思いました。ありがとうございます。
- ❖ 学校での出来事で何かあれば電話連絡をくれる点はありがたいです。
- ❖ 担任の先生が子どものことをよく見てくれていると感じました。コロナで忙しいにもかかわらず気にしてくれることはありがたかったです。
- ❖ 先生方の仕事量が多すぎるのではと思います。ボランティアなど手伝えることがあれば参加したいです。
- ❖ コロナ禍で日々お忙しい中にもかかわらず、子どもたちの健やかな成長のためご尽力やお心遣いをして下さり感謝しております。
- ❖ 学習が分かりやすく、子どもが前向きに学校に通ってくれる点がよいです。
- ❖ 授業中に補助の先生がいらっしゃるのはとてもよいと思います。
- ❖ 前の学校では、「自主学習ノート」はなかったもので、とてもよいと思います。
- ❖ 家庭学習ウィークなど勉強が習慣化するような取組はよいと思います。
- ❖ 月や星の観察など宿題としてするように勧めてもらったことがよかったです。
- ❖ コロナ禍で、子どもたちの命を守ってくださる姿と実行力に感謝しています。
- ❖ 新型コロナの影響で学校行事ができなくても、子どもは毎日楽しそうに通学しています
- ❖ 徹底したコロナ対策に取り組んでいただき、ありがとうございます。
- ❖ コロナが流行っている中、毎日学校に行けて給食も少しずつ品数を増やしていただいて先生方の大変な努力があるだろうと思います。子どもも帰ってきたら、うがいと手洗いが習慣付いています。このまま一人一人が気を付けることで今まで通り生活ができると思います。大変な仕事量だと思いますが、よろしく願いいたします。
- ❖ 朝のチェック、用具の消毒など細かく行っていただきありがとうございます。
- ❖ 感染対策をしっかりしていただきありがとうございます。

< 改善点 >ご意見をいただき、ありがとうございました。すぐに生かしたい・取り入れたい・既に行っていることを◎、時間を少しいただいて着実に成果をあげられるよう取り組みたいことを○で表しています。

・ 早くコロナが収束して、学校行事や参観等が例年通りにできるようになることを願います。

○ 1日も早く新型コロナウイルスの感染が収束することを願うとともに、本市の感染状況や教育委員会からの文書等を踏まえて検討し、感染対策を十分講じて実施可能なものにつきましては、行っていきたいと思ひます。

・ 人との関わり方が今までとは、変化しているので、その中でルールを守りながら上手くコミュニケーションをとり、いろいろな人へ配慮できるやさしい心を育ててほしいです。
・ 我が子だけかもしれませんが、クラスの友達の名前を全員は知らない。コロナであまり人と関わらないようにしているからなのか、少し寂しいです。
・ 他学年との交流が図れる行事があれば、より学校生活が楽しくなるのではないかと思います。

◎ 例年でしたら、年度当初には6年生が1年生の教室でお話をしたり、歓迎遠足に手をつないで行ったり、給食が始まると掃除時間に掃除の仕方を教えたりなど、交流の場を多くもっています。また、「子ども読書の日」には、6年生が1年生に、5年生が2年生に絵本の読み聞かせをしたり、新体力テストの測定の際には、種目によっては、6年生が1年生に手本を見せたり、測定の回数を数えたりするなどの関わりをもっています。さらに、生活科の学習では、2年生が1年生に校内を案内して回ったり、教室に招待して手作りおもちゃで遊んだりする活動にも取り組んでいます。中学年においても、4年生が3年生にクラブ活動や学習内容について紹介する取組も行っています。5年生は、総合的な学習の時間に校区の幼稚園や保育園に出かけていき、幼児とのふれあい体験を行っています。集会委員会や体育委員会の児童による取組では、異学年でペアになって活動をしています。

しかし、本年度は、上記のような活動がほとんどできませんでした。厳しい状況の中でも、机の配置を考え、ICTやスクールシールド、マグネットボード等を活用して話し合いをしたり、道具や用具の配置を工夫し、更には消毒の徹底をして実習や実験に取り組んだり、可能な限りの対策を講じながら交流をもつようにしました。異学年との交流についても、直接的な交流は難しいので、6年生が1年生に、入学のお祝い気持ちを込めてビデオメッセージを届けていました。給食が始まる頃には、低学年が給食時間に使うスクールシールドの組み立てを6年生がしてくれました。さらに、活動内容や活動方法を大きく変更し、回数も少ないながら、クラブ活動や委員会活動も実施しました。3月には、お別れ集会もビデオで行いました。

今後も内容や方法を工夫して、人との関わりが深まるような取組を行っていききたいと思ひます。

・ 図書時間が大好きな子です。図書活動や読書が盛んになることを祈っています。

◎ 問15にも記載しましたように、学校としても工夫した取組をこれまで以上に行ってまいります。

・ 補助の先生の人員が増えて、より細やかに対応していただけるといいと思ひます。勉強についていけない子どもが少なくなればいいなと思ひます。

○ 本校では、学習内容の確実な定着に向け、6年生は学年を4グループに分けて、算数科の巻末の単元で少人数指導を行うなど、高学年を中心とした専科指導や少人数指導、TT授業（複数の教員による授業）など授業形態や指導方法を工夫しながら学力向上につながるよう努めています。また、特別支援教育担当教員や管理職、新採指導教員などもたくさん授業に入り、指導の充実を図っています。さらに、本年度から全面実施となった新学習指導要領では、3・4年生で外国語活動、5・6年生で外国語科が新たに加わりましたが、本市では、既に一昨年度から先行実施しており、外国語活動にはALT、外国語科には日本人ALTが各学級に入って、担任と連携しながら授業を行っています。限られた人員配置の中での工夫ではありますが、様々な形で人員が増えると、いろいろな授業場面により多く関わる事ができて、きめ細かな指導の充実につながると思ひます。

・ 西門司タイムは、どのような取組ですか。家庭での学習時間の確保やコロナウィルス感染のリスク低減のために西門司タイムをなくして、下校時刻を早めることも考えられるのではないのでしょうか。

◎ 本校では、水曜日以外の朝の15分間を「西門司タイム」として位置付け、国語や算数のプリントを中心とした補充学習と並行して、学年によってタブレット端末も活用して個々の児童の実態に応じた補充問題に取り組んでいます。そして、その結果を授業や家庭学習に生かすことで、確実な定着へと繋ぎたいと考えています。また、どの教科においても学習の基盤となる話し合い活動（感染予防のため机の配置を工夫し、スクールシールドを使用）のスキルアップを図る・補完する取組も行っております。そうすることで、授業時間における話し合い活動の充実が図られ、教科の学習のねらいの達成とともに、考えを広げたり深めたりすることへと繋がり、新学習指導要領が目指す深い学びへと高まると考えるからです。上記のように組織的に取り組む15分間の「西門司タイム」は、大変貴重な時間と考え位置付けています。「西門司タイム」の活動内容と、その趣旨や教育的価値についてのご理解とご協力をお願いします。

・ 自宅で働きかけを積極的にしていますが、勉強が分からず行き詰まるとごまかしてやらなくなります。苦手分野を繰り返しやって伸ばしていただけると嬉しいです。

◎ 家庭学習にご協力いただいておりますことに感謝申し上げます。個々の児童の学習の課題を克服できるように授業中に支援したり、西門司タイムの時に補充したり、実態によっては家庭学習の内容を工夫したりしていくようにしています。今後も、分かる授業の推進と併せて、働きかけを行っていきたいと思います。

・ コロナ対策を行いつつ、授業を進められることの大変さは重々承知していますが、子どもが話したそうにしていたら、それを察知して聞いていただくと嬉しいです。

◎ 問9にも記載しましたが、職員一人一人がしっかりとアンテナを高くして、小さな変化にも気付くことができるように更なる働きかけをしていくとともに、相談しやすい環境づくりに努めたいと思います。保護者の皆様も、お気づきのことがありましたら遠慮なくお知らせください。

・ 外で遊んだり、小学校のグラウンドで行ったりするスポーツ等は、もう少し規制を緩くして子どもたちに体を動かす機会を作ってあげてほしいです。

○ スポーツ開放や目的外使用許可による開放時間における学校施設の使用方法につきましては、市の担当課から発出される通知文等に沿って使用していただくようになっていきますので、ご理解とご協力をお願いします。

休み時間や体育科の授業時間については、文部科学省からの通知文や本市教委作成の感染症対応マニュアルを基にした対応を行っております。本校の児童の体力向上は、重要課題の一つであると考えていますので、実施可能な範囲内で、最大限の体力向上を図っていこうと思います。

・ 雨の日など、室内での遊び方を工夫していただければ、さらに楽しくなるのではないのでしょうか。

◎ 雨天時の休み時間の過ごし方については三密を避け、読書やお絵描き、(一人)綾取りなどをしていますが、安全で楽しい過ごし方についてのアイデアを募るなどの工夫もしていきたいと思います。

・ 学校を通るとき、窓が閉まっていることが多いと感じるので、換気を行っているのが不安に思います。

◎ 特別教室に移動のために施錠する場合を除き、教室内の換気については、効率よく行うためベランダ側と廊下側の両方の窓の両端を冬場でも少しずつ開けるようにしています。特に廊下側の上の窓の両側は、教室、特別教室を問わず常時開け、教室移動の際も、開けたままにして戸や下の窓のみ施錠するようにして換気は常に行っていますので、ご安心ください。また、必要に応じてサーキュレーターも使用しています。これからは、気温も上がりますので、今まで以上に気を付けたいと思います。

本校の教育活動改善のために、様々な点からご意見を頂戴し、ありがとうございました。いただいたご意見を参考に、よりよい学校教育の推進に役立ててまいりたいと思います。今後とも、温かいご理解とご協力をよろしく願いいたします。

改善方針

3. 改善方針

目指す子ども像

○ねばり強く学ぶ子ども（**がんばり**）・・・自主・真剣・継続 ○たくましい子ども（**元気**）・・・健康・不屈・信念
○自他を大切にする子ども（**やさしさ**）・・・責任・協働・誠実 ○規律正しい子ども（**正しさ**）・・・正義・礼節・奉仕

(1) 「やさしさ」・「正しさ」

- 学校の教育活動全体を通じた道徳教育の推進・・・道徳的価値の自覚
各教科等の特性と子どもの発達の段階を踏まえ、道徳科との関連を図った指導
- 道徳教育の要である道徳科の内容のさらなる充実
 - ・ 豊かな体験活動の充実
 - ・ いじめ（ネットトラブルを含む）の防止・・・家庭との連携
 - ・ 自己の生き方
 - ・ 多面的・多角的に考え、議論する道徳
- 道徳的実践力の向上
家庭や地域のご協力を得ながら、学校・家庭・地域において道徳的実践力が高まり、広がるような働きかけ
保・幼・小・中並びに地域・家庭との連携を強化し、心の教育の充実促進
- 自他のかげがえのなさを実感できる“要場所（いばしょ）”づくりの更なる推進
- 円滑な人間関係の構築やコミュニケーション能力の向上
様々な人との関わり（地域の方々や異年齢との交流等）
豊かな体験活動
各学年の発達の段階や児童の実態に応じた「北九州つながりプログラム」（対人スキルアップ）の実施
- 人権学習教材「新版いのち」（北九州市教育委員会）等の資料の有効活用と家庭との連携促進

相手の立場や心情の理解・道徳的価値への気付き

(2) 「元気」

- 北九州市学力・体力向上アクションプランの推進
 - ・ 体育科授業の充実
 - ・ P D C A サイクルの確立
 - ・ 「体力アッププラン」の確実な実施
- 新体力テストの全学年全種目継続実施
- 運動への関心を高め、運動に親しみ体力向上につながるような働きかけ
 - ・ 縄跳びの継続実施
- 持久力大会とそれに向けた取組強化
- 規則正しい生活や望ましい食生活の実践化を目指した健康教育や食育の推進

(3) 「がんばり」

- 授業改善・・・その学年の内容をその学年で確実に！
 - ・ 「分かる授業」5つのポイントの徹底
 - ・ 学習規律・学習習慣の徹底
 - ・ 主体的で、対話的で、深い学び（アクティブラーニング）
 - ・ 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着 → 補充学習の強化
 - ・ 話合い活動の充実
 - ・ 専科指導、少人数指導、T T 授業などを推進し、個に応じたきめ細かな指導の充実
 - ・ 問題解決的な学習展開 → 思考力・判断力・表現力等（活用する力）の育成
- 朝タイムの活用
 - ・ タブレット端末を活用した補充学習における話合い活動と形成的評価
- 家庭学習（宿題を含む）の定着化に向けた取組（時間、学年別、教科別内容）
 - ・ 「西門司すくすく」の活用促進配布・実施・徹底
 - ・ 「家庭学習ウィーク」の充実促進
 - ・ 家読（ウチドク）の推進
- 学習の基盤である基本的な生活習慣の改善促進 ← 家庭との連携強化
 - ・ 生活時間の見直し・改善（ゲームやテレビの時間の短縮と約束の励行）
 - ・ 早寝早起き朝ごはん

※ 家庭学習の目安の時間
15分×学年の数
(宿題＋自主学习＋読書)